

資産価格の実証分析／金融経済論 II 第 4 回宿題

祝迫得夫

配布： 2008 年 12 月 19 日（金） 提出： 2007 年 1 月 13 日（火）

提出方法

As usual. 授業の最後／業務時間内にハードコピーを提出するか，宿題提出用のアドレス（tiw1@ier.hit-u.ac.jp）に Word, Excel, PDF のいずれかのフォーマットで提出.

1. 日本の Fama-French ファクターと 5x5 の Fama-French ポートフォリオの四半期データ（HW4_2008dat.xls）を使い，CAPM／マルチファクター・モデルを推定します。
まず各ファクターとポートフォリオのリターンのデータについて基本統計量の表を作成してください。また，各ファクターをプロットしたり，系列相関をチェックしたりして，日本市場における Fama-French ファクター（SMB, HML）の特徴について議論して下さい。
2. CAPM, 消費成長率（CG）をファクターに用いたモデル，Fama-French の 3 つのモデルを，Fama-MacBeth の二段階回帰で推計し，二段階目の推計結果を報告してください。また Jagannathan and Wang のような，縦軸にモデルの当てはめ値，横軸に実際のリターンの値をとってプロットしたグラフを作成してください。
3. 設問 2 の推計の一段階目の回帰式（各ポートフォリオのファクターへの時系列の回帰式）を，幾つか期間を区切って推定するか，Rolling Regression を使って推計し，モデルの説明力がどのように時間的に変化しているかを検討してください。すなわち Campbell, Lettau, Malkiel, and Xu (2001, Journal of Finance) のように，回帰式の残差項の和／平均を計算し，それが時間を通じてどのように変化しているか検討してください。